

<p>産業宣教: OMC時代の伝道者の生活の一心、全心、持続 (40)「グアンジュ、チョンラ地域 — 壇を築いたアブラハム」(創13:14-18)</p>	<p>聖日1講: 御霊の実 (ガラテヤ5:22-24)</p>	<p>聖日2講: 絶対に落胆してはならない (ガラテヤ6:6-9)</p>	<p>伝道学: 伝道者の生活の一心、全心、持続 (40)「災いの時代を止める伝道の始まり」(ピリ2:13)</p>
<p>1. ロトと別れない。(創13:14) 1) 不信仰 2) 紛争 3) 財産の奴隷</p> <p>2. 北と南、東と西を見渡しなさい。(創13:14-15) 縦と横に歩き回りなさい。(創13:17) 1) 高さ、深さ、広さ 2) あなたとあなたの子孫とに与えよう 3) 永久に</p> <p>3. 祭壇を築きなさい。(創13:18) 1) 創3:15 2) 創6:14 3) 創11:1-8 → 創12:3</p>	<p>* 序論 ▲みなさんの中に根を下ろしていることが、みなさんの未来となる。みなさんお中に真理が根を下ろされていれば、必ず真理の実を結ぶ。 ▲全世界に災いが起きているのは教会の責任だ。なぜそうかを聖書にあるのに、知らせないからだ。今、全世界の指導者が最も悩んでいるのが何か。青少年問題と自殺率増加問題だ。これをどのように防ぐのだろうか。 ▲神様のみことばである聖書は、重要なこと3つを話している。最初が、人間は神様の最も大きい祝福を受けなければならぬ神様のかたちとして造られたことだ。それで、人間は救われなければならない。人間は、神の子ともいなるのが最も大きい祝福だ。ここに根をおろさなければならぬ。2つ目に、霊的な力を受けなさい。3つ目に、世の中の人々が知らない怖い世界がある。それで、世の中の暗い暗やみの勢力に勝てる権威を持ちなさい。 ▲どのようにその祝福を受けるのか。 1. 神様がくださった最高の祝福を握りなさい。 1) 神様が地球上にくださった最高の祝福がキリストなので、キリストを充分に味わえば力ができる。 2) みなさんが行く所ごとに神の国味わうのが霊的な力だ。 3) この事実を本当に体験してしまえば、それを聖霊の満たしという。それが使徒18節だ。 ▲エペソ28、恵みによって、信仰によって救われるようになったのだ。世界の基が置かれる前、創造前に準備されたのだ。 2. 神様がすべての神の民にこの力を与えられる。 1) ペテロが霊的な力を体験して、出た大胆だった(使徒4:12) 2) 初代教会がこの体験をして、この祝福を受けたのだ。 3) パウロがこの祝福を体験したが、その時から世界を変える祝福を受けたのだ。 4) キム・イクドゥ、サンダー・シングがこの体験をしたのだ。 3. 聖霊に満たされる力を受ければ、最も正常な実が出てくる。 1) 神様に向かった実が出てくる-神様の愛、喜び、平安だ。 2) 人に向かった実が出てくる-寛容、親切、善意 3) 自分に実が出てくる-誠実、柔和、自制 ▲みなさんが霊的な力を得れば、良い夫、良い妻を得るのではなく、良い夫、良い妻を作るのだ。私が霊的な力があれば、良い人を作るのだ。 * 結論 ▲今、ニューエイジ、フリーメイソンが起きて、悪霊につかれるようにさせている。神様が三つ目にくださった祝福が、わたしがあなたがたを呼んだのは霊的権威を与えるためだ(マルコ3:13-15、ルカ10:19、ヨハネ1:12)みなさんが、福音を悟らなければならず、霊的な力を得て、この霊的権威を持って世の中を生かさなければならぬ。それが聖書の核心的話だ。今日から教会で始まる40日オリーブ山の契約を握りなさい。聖書に約束された力を私に与えてください!それを持って世の中に入って、世の中を生かすようにしてください!</p>	<p>* 序論 ▲神様の計画ならば答えなくても大丈夫だ。落胆してはならないイエス様が弟子たちを呼んで言われた約束を見なさい→ヨハネ14:1-27 助け主、聖霊がともに、ヨハネ19:30十字架で完了した、ヨハネ20:22 復活して聖霊を受けなさい、マタイ28:16-20世の終わりにまでいつもあなたがたとともに、使徒1:8たが聖霊があなたがたの上に臨めば力を受けて地の果てまで証人になる、コリント3:16聖霊があなたがたの中におられ、願いをしてお成し遂げられる、ヨハネ14:26聖霊がすべてを悟らせてくださる、ヨハネ16:13将来お事を分るようにする、ヨハネ2:20-27知らないことも分かるようにする。これを信じなければならぬ。肉で触れれば腐ることを刈り取るが、聖霊で触れれば永遠のいのちを刈り取るだろう。これはふつうの話ではなくて、旧約の約束の成就だ。 1. 旧約の約束の成就だ。 1) 五旬節-超越祭(祝日)、収穫祭(天国の背景)、五旬節-今の聖霊の働きに対する約束の成就だ。 2) エル2:28、将来仕事を言て、夢を見て、幻を見るようになる。終わりの日にすべての肉の上に聖霊を注ぐ。この約束を持っているのだ。今回の40日に体験するように願う。 3) オリーブ山-この約束はオリーブ山でされた約束だ。 2. たがの方法を探さない。 1) たがは待つことと祝福だ。 (1) 使徒1:1キリストの働きが起きるように、サタン束縛、暗やみが碎かれるように待つのだ。使徒1:3神の国、使徒1:8聖霊の満たし (2) 使徒1:14使徒2:1聖霊の満たしその日を待つのだ。 (3) 使徒2:42、講壇メッセージを握って待つのだ。 2) たがは神様がくださる答えの祝福を待ちなさい。 (1) 力を与えられる。 (2) 私の産業に証拠をくださる。 (3) 証人の祝福を味わうようになる。 3) これから残った人生を証人の祝福で行くようにたがを握りなさい (1) エルサレムと教会を生かして (2) ユダヤと (3) サマリヤと (4) 地の果てにまで(永遠まで) 3. この約束の主がくださったので、絶対に落胆してはならない 1) ガラテヤ6:9時期が来て、刈り取るようになる 2) テサロニケ2:19聖霊の働きを消してはならない 3) エペソ4:30聖霊を悲しませてはならない。聖霊であなたに印を押された。 * 結論 ▲それで、みなさんは聖霊にあつて献身しなさい。聖霊に導かれるように献身しなさい。聖霊の満たしの中で献身しなさい。みなさんの少しの献身が全世界を生かすようになる。今日から一つ-40日を握りなさい。どのように40日を始めるか。どのように正しく成功をさせるのか。 1) 全体を見て答えを探さない-すべての高さ/深さ/広さを見て、上/下/そばにいる人を参考にして、過去/現在/未来を見なさい。たがな理由を見ようになれば、答えが出てくる。 2) このとき、天命が見える。それでこそ、召命、使命が出てくる。 3) このときから、システムが見える。 4) このときから備えられた救われる者が見えて 5) そうすれば、私が行かなくてもかまわない弟子、絶対に揺れない弟子が備えられている。 ▲今日からみなさんの人生のオリーブ山が始まることを望む。</p>	<p>1. あきらめた者 1) 伝3:1-10 2) 出3:1-20 3) 1列19:1-7 2. 落胆した者 1) ピリ1:6 2) ピリ2:13 3) ピリ4:13 3. 崩れた者 1) マタ12:43-45 2) エペ6:12, 13, 16 3) マコ3:15, ルカ10:19, 使6:16-18</p> <p>地域(因効)教材 43課 感激があふれ出る礼拝Ⅱサムエル6:16-23)</p> <p>▲本文の内容は、礼拝の感謝に描かれたダビデの姿を見えています。ダビデ王には切実な一つの願ひがありました。それは神様の露の箱をエルサレムに持ってくることでした。長い間の時節待ち望んだあげく、契約の箱を持つてくるようになったとき、ダビデの喜びは到底言葉で表現することができませんでした。彼は数多の臣下と、また彼の妻が見守る中で、喜びあふれて自分のからだからあられることも知らずに踊りました。この姿を見たダビデの妻カルがさげすみました。今日、私たちがこのみことばの中で、なぜ私たちが礼拝の感謝を失って生きているのかを悟らなければなりません。 1. 私たちの礼拝の中に感謝がない理由は何でしょうか ▲神様よりの感激をさらに重要に思つたのです。ミカルが重要に思つたのが何でそうか。威厳でした。「心の中で彼をさげすんだ。」(16節)王としてしなければならぬこと、してはならないことに対する形式的なことを、彼女がさらに重要だと思つた。それで、契約の箱が入ってくるのを見ながら、ミカルはダビデが味わっている礼拝の感激をとも感ぜられなかったのです。今日、私たちがミカルと同じように思つていませんか。身分や職業のために、全力をつくして礼拝できないではありませんか。碎かれたましいで主の前に出てきても、人の耳目のために、悔い改めることができず、切実に主の御名を呼ぶこともできず、たんに礼拝堂のドアだけ踏んで行っているのではないのでしょうか。礼拝の時間が退屈だと不平を言つて、説教が退屈だと感じて、祈りがとても長、と、すべてに不平を注いでいませんか。こういう考えでさげすむ礼拝は、感激の礼拝ではありません。神様の恵みが私のごとくならないのです。 2. どのように感激がある礼拝をささげられるのでしょうか ▲私たちの礼拝が感激がある礼拝となるためには、ダビデが重要だと思つたことが何だったかを分らなければなりません。ミカルが人の感激を重要視したとすれば、ダビデは神様の神聖を重要視しました。ダビデは神様の神聖であることを重要だと思つた。このように、ダビデがからだを表わしたまま喜んだことは、神様が生きておられると、まことの神様を信じためです。自分自身より神様、神様が高められなければならないと思つたためです。それで彼は、定めた場で神様の前に全焼のいけにえと、和解のいけにえを主の前にささげました(17節)。そして、万軍の主の御名を祈願しました(19節)。またすべてのイスラエルの民にロー一個、なつめやの菓子一個、干しぶどうの菓子一個を分け与えました(19節)。この礼拝の祈願を通してすべての民が一つになる共同体の交わりが成されたのです。みなさんも、ダビデが契約の箱自來にけけ開けがあったとき、すべての家來のはしたが見守っている中で、からだを表わして神様に賛美することができようか。もしダビデが契約の箱の中に入つての物ごけ開けがあったとすれば、神様の前で自分自身を限りなく低くすることを喜んだでしょうか。感激がある礼拝をささげようことを願うなら、神様を神様と認めてください。礼拝を受ける方は神様であり、私ではありません。人ではありません。神様ごけ集中しなければなりません。そして、今日、私、私たちの家來に対して何を言われ、どんな計画を持っておられるのか、このようにたが神様ごけ集中する礼拝をささげて、私を救つて生かしてくださった神様のみことばに傾けるとき、私たちは成功する感激の礼拝をささげようになります。 3. 感激がある礼拝とは、どんな礼拝でしょうか ▲感激がある礼拝で最も重要なのは「神様の出合い」があることです。神様と会うことがなくては、感激がある礼拝ができません。私たちは礼拝を通して神様との密な交わりがなされなければなりません。ダビデが露の箱を箱屋の中に入れて置いて、家族を祝福するために来たとき、ミカルから聞いてはいけぬ旨を聞かれました。ダビデをさげすみ、皮肉の言葉を聞いたのです。「イスラエルの王は、きょう、ほんとうに感激がございましたね。ごつきが願はずかしげもなく裸になるように、きょう、あなたは自分の家來のはしたが目の前で裸におなりになって。」(20節)とどれくらい思慮深いな話と行為でしょうか。このとき、ダビデは「これは主の前でたごたごたの。私は主の喜び踊るのだ!」私は主の前で踊つたのだと語ります。「私はこれより、もっと卑しめられよう。私の目に卑しく見えても、あなたの言うのはためたに、敬われたのだ。」(22節)このことばの意味は何でしょうか。自分礼拝を通して神様と会つたという事です。自分が踊つたその場が、まさに神様と会う場であったと語つたのです。みなさんの中にあるミカルを取り除いてください。サウルの娘ミカルは、その後死ぬ日まで子どもを得られませんでした。いま私たちは、ダビデの心を抱かなければなりません。ダビデの礼拝する心を抱きましょう。ダビデは自分の力を表わそうとしないで、すべて神様ごけ表わそうとした。礼拝の感激は、神様を表わそうとするとき、より一層大きくなります。私たちが神様を表わそうとすると、神様は私たちにさらに近く近づいてくれます。礼拝は神様と会ふ感激の事件にならないといけないのです。</p>

週間メッセージの流れ (2014.10.19.-2014.10.25)

(1) 聖日1部(10月19日)→ パウロの悩み (ガラテヤ4:28-31)

なぜ福音をずっと強調しなければならぬのか、現場を見てその理由を分る伝道者の生活を送るようにさせてくださったことを感謝します。私の中に福音の根をおろすようにしていただき、イサクと同じ祝福の子どもとして、今、その答えを味わう証人となりますように。私の中に正しい教会観が根をおろすようにしていただき、祈りの中で私の生活と経済、すべてが回復しますように。私の中にレムナント運動が根をおろすようにしていただき、行く所ごとに神様のみわざが始まる伝道を味わえますように。今、この三つに根をおろす時間になりますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

(2) 聖日2部(10月19日)→ 奴隷のくびきを負わせられないようにしなさい (ガラテヤ5:1)

キリストがくださった自由によって、奴隷のくびきを脱いでしまい、まことの自由を回復する証人にならせてくださったことを感謝します。私の人生を掌握しているくびきが何かを知って、そのくびきを脱いでしまい、まことの勝利を味わうことができますように。現場と現実にあるくびきを脱いでしまい、私とともにおられる神様の力で現実に勝利することができますように。キリストのなかで私の考えを変えて、相続人らしく、証人らしく、時代のくびきから抜け出せますように。まことの福音、まことの証人の祝福を探して味わえますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

(3) 伝道企画チーム(10月19日)→ 地域(区域)教材42課: 生きた供え物としてささげなさい (ローマ12:1)

▲生きた供え物→ 信仰生活は一番やさしくて平安なこと+祈りが一番幸せなこと+みことばと世の中は合うようになっている+未信者の成功をうらやむのではなく彼らを生かす証人+みことば成就と答えの証人だ。

- ①従順のささげ物- I サムエル15:22、ヨハネ2:1-11、ともに(インマヌエル)
- ②感謝のささげ物-ダニエル6:10、詩50:14、パウロの感謝
- ③悔い改めのささげ物-詩51:17、ヨブ1:20-22、ヨブ45:5-6
- ④結論-神様のみことばを握りなさい!

(4) 火曜集会(10月21日)→ 福音の根+伝道の根+祈りの根+いやしの根

▲伝道弟子: 福音の根(創世記22:1-20)

- ①福音の根をおろせば、はっきりと来る答えがいやし-たましい、霊的な病気、肉体的いやし
- ②福音の根を下ろせば-創世記22:1-20, 26:10-20, 出5:1-12章, 出14:1-13, ヨシヤ3:1-13, 6:1-20, イザヤ7:14, 43:18-31, 60:1-22, 62:6-12, 使徒1:14, 2:1, 3:1, 4:12, 11:19, 12:1-25
- ③どのように根をおろすのか-小さいことの中で大きい絵を見なさい、堅く握ることと放すこと(ピリピ3章)、すべての信徒を大切に見なさい(使徒2:1-4)
- ④何を持って福音に根をおろすのか- 8ミッション(流れ4種類、絶対4種類)、私の正確な現場をミッションで見なさい。私のこと(ローマ16:25, 使徒1:1)
- ⑤結論-人生の変化(神様の恵みが必要)、12の問題を解決する主役、実

▲70人: 伝道の根(マタイ4:19)

- ①神様が最も多く約束されたこと→ Withの祝福(ともに)-キリスト、父なる神様とそのみことば、聖霊の働き
 - ②全てのものを伝道の目で見ようになる→ すべての人、すべての事件、すべての現場
 - ③10のことを伝道の目でながめなさい→ 福音回復、祈り回復、教会回復、礼拝回復、職分回復、現場伝道回復、宣教回復、産業回復、献身回復
 - ④結論-うつつわ(3jopの祝福を受けなさい)-生計/子どもの教育/献金
- ▲ミッションホーム: 祈りの根(エレミヤ33:3)

- ①回復の順序→ 叫ぶ祈り(エレミヤ33:3)、深い祈り(IIコリント12:1-10)、成り立つ祈り(幸せな定刻祈り、24時祈り、25時祈り)
 - ②祈りの中の武器(10の回復)-霊的革新、生活革新、人材革新、いやし革新、文化革新、地教会革新、神殿建築革新、RUTC革新
 - ③人生の旅程の中で25時を味わいなさい(神の国、異なる背景、証人)→ 祈りの結論
- ▲専門の働き: いやしの根(使徒11:25-26)
- ①序論-深い幸せの中に入るのがいやしのはじまりだ。
 - ②深い信仰-みことばの前に、キリストの前に、助け主聖霊の前に立つのだ。
 - ③深い祈り-使徒2:1-3、ガラテヤ2:20、IIコリント12:1-10
 - ④深い集中-山/川/海、詩/歌、明け方/夜
 - ⑤深い決断-どこに行っても異にかかると。個人が担いでいるくびきを脱いでしまいなさい。傷/恨み/人の声/否定的/心配を捨てなさい。

(5) レムナント神学研究員特講(10月22日)→ オネシモ(ピレモン1:9-10)

▲至急な勉強-指導者勉強(指導力)+祈り(霊力)+伝道(理解)

- ①指導者の目-福音の根(福音包装)、伝道の根(宗教)、祈りの根(人が何か分らなければならぬ)
- ②指導者の変化-私の中に隠されたこと、昔のことが私を難しくさせる。それをはやく変えなさい。
- ③指導者のうつわ-過去の影響を脱いでしまいなさい。今日のすることと、しないことを区分しなさい。
- ④神学校にいる間に未来に向かった天命を受けなさい。大きく準備しなさい。
- ⑤結論- RU(世界生かす伝道者、指導者)、RTS(世界を生かす伝道者、牧会者を作る)

(6) 産業宣教(10月25日)→ 伝道者の生活の一心、全心、持続(40)- (クアンジュ、チョルラ地域)祭壇を築いたアブラハム(創世記13:14-18)

▲イエス・キリストが私の人生の主人になれば、行く所ごとに働きが起きる→ ガラテヤ2:20(私を空けるのではなく、私を変えるのだ)

- ①口を離れて送り出さなさい(創世記13:14)-捨てた
- ②東西南北を見まわしてみなさい(創世記13:14-15)、縦と横で通ってみなさい(創世記13:16)-見つけた
- ③祭壇を築きなさい(創世記13:18)-変えた。
- ④結論-私たちは救われた。キリストが主人ならば絶対に失敗できない。キリストを主人にして教会を生かす主役になりなさい!

(7) 伝道学(10月25日)→ 災い時代を防ぐ伝道のはじまり(ピリピ2:13)

▲福音の根+祈りの根+伝道の根

(8) 核心訓練+レムナントデイ(10月25日)→ 40日の始まり-なぜヨルダンを渡らなければならないのか(ヨシヤ4:1-7)+ 学院福音化(ルツ記)

▲福音を包装せずに福音の根をおろしなさい!福音の根をおろせば、すべてのことを変えられる。

- ①1課: 福音の働き(タマル、ラハブ、ルツ、パテ・シェバ、マリヤ)
- ②2課: 福音理解
- ③3課: 福音の生活
- ④4課: 福音の出会い
- ⑤5課: 福音の未来

(9) 地域(区域)教材(10月25日)→ 43課: 感激があふれ出る礼拝(IIサムエル6:16-23)